

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ヘブル 10:32-39
賛美	そのとき若い女も(PPT 29)
使徒信条	会衆一同
交誦文	14
賛美	叫べ全地よ(PPT 9)
メッセージ	約束の地に入れる者2 (民数記 14 章)
御言葉を適用する祈り	会衆一同
主の祈り	会衆一同
Ⅱコリント13:11-13	パスター
報告	

震災にある日本のための祈り

今、実際的な助けを必要としている人達に、一刻も早く助けが備えられるように。上に立てられている権威に良き知恵が与えられ、正しい判断によって混乱なく指示を出しますように。

今、被災地で救助活動しておられる働き人達の手が守られ、滞りなく進められますように。分子の陽子・電子・中性子に至るまで、全宇宙の運行を全て支配し管理しておられる主・イエスの名によって、原発や地下プレートが、この国の人々に害する事を禁じます。

今、人を脅かしているあらゆる自然の活動に対し、地の深みから山々の頂に至る全地を統べ治めておられる主イエスの名によって、これ以上この国に害を及ぼす事を、禁じます。

人々を害す邪悪な人的・霊的な存在には、自ら掘った墓穴に入るよう呪います。

陽子・電子・中性子から全宇宙の運行に至るまで、全て支配し管理しておられる、主イエスの名によって、日本を祝福します。アーメン。

聖書クイズ(今日のメッセージから答えて下さい)

- 問1: 神を信じた今の方が苦しみに溢れているならば、その理由は何ですか？
- 問2: 自分では対抗し得ない砂漠から、速やかに抜け出すコツは何ですか？
- 問3: モーセの執り成しの祈りでは、主体は何だったのでしょうか？
- 問4: 約束の地に入れない者は、どういう者ですか？
- 問5: 約束の地に入れる者は、どういう者ですか？

カデシュ・バルネアは「神聖な砂漠を放浪する」という意味があり、神の子とされる者なら誰もカデシュ・バルネアを経験し、速やかに抜けて約束の地に入る者もいれば、ずっと抜け出せないまま屍を晒す者もいる。もし神を信じた今のほうが、そうでなかった時より苦しみに溢れているとするならば、それは、**信じると言いつつも実は信じ切っておらず、出エジプトの民のようにどっちつかずのまま砂漠をさ迷っているからだ。**この砂漠から抜け出せる者と、抜け出せない者の違いを、民数記 14 章から学びたい。

斥候の知らせを聞いた民は、カレブの「必ず占領できる」という言葉に耳を貸さず、悪く言いふらす者達の言葉を受け入れ、夜通し泣き明かし「死んだほうがましだ」「妻子はさらわれてしまう」「エジプトに帰った方が私達に良い」と叫び、ついには「一人のかしらを立ててエジプトに帰ろう」とまで言い出した。(民 14:1-4) カデシュ・バルネアとは、目の前の現実に「自分の資力」で対抗しようとするなら、絶望しかない状況である。このままでは妻も子供も養えず、一家離散だ。だから神ではなくエジプトに頼っていた生活に戻ろう、というのが、人間の考えるケチなベストである。このカデシュ・バルネアを速やかに抜け出すコツは、目の前にそびえる現実に対抗する基を、「自分」ではなく「自分と共におられる全能なるお方」へと換える事である。

そのような時にモーセとアロンが真っ先にした事は、民と向き合う事ではなく、全能なる「お方」にひれ伏す事であり(5 節)、ヨシュアとカレブは民を説得し、全能なる「お方」が自分達と共におられ、このお方に従うよう勧めた(9 節) 。

しかしそれに対し、全会衆はモーセ達やヨシュア達を石で撃ち殺そう、という判断を下してしまった。彼らを民が石で打とうとした、まさにその時、主の栄光が会見の幕屋から全イスラエルに現れ(10 節)、主は、「この民を滅ぼし、あなたを大いなる強い国民にしよう」と言った。それでもモーセは神に執り成した。

13 節から 19 節まで続くモーセの執り成しに、「あなた」という言葉が 10 回も出て来る事は、注目に値する。民にも少しはいい所があるでしょう、とか、民がかわいそうだ、ではない。「あなた」の榮譽のため、「あなた」の約束の故に、民を滅ぼさないで下さい、と言っているのだ。

私達は何かと自分や他人の事を挙げて祈りがちだが、**自分や他人の問題は脇に置き、まず主の前にひれ伏して、主の榮譽・主の御言葉を第一にして祈る、その祈りこそが、聞かれる祈りである。**

主は確かにモーセの執り成しを聞かれ、滅ぼす事を思い留めて下さった。しかしそれは、民が選択した事の責任を見過ごす事でも、取った行動に対する実を自ら刈り取る事から逃れる事でも無い。主が生きており、栄光が全地に満ちている以上、自分の蒔いた種は必ず自分で刈り取る事になり、主の栄光と徴を見つつ、なお御声に聞き従わない者は、約束の地に入れないと宣告された。(民 14:21-23)

宣告された時に悔い改めれば、まだ赦されたかもしれない。しかし民が荒野で死ぬ事が決定的となってしまったのは、民が主の栄光を見、その戒めを聞きながらも、なお「つぶやいた」からだだった。(27 節) 主は幾度も栄光を見せ、戒めたのに、それでなおもつぶやくなら、自らがつぶやいた通りになってしまう。信じ切れず恐れ退いて右往左往し、信仰の一步を踏み出せないでいるキリスト者ほど惨めな存在はない。キリスト者は、信じて前進すればこそ約束された良き地に入り、豊かな祝福と命を楽しむ事ができるのだ。

以上学んできた事の結論として、**約束の地に入れない者とは、全能なる主を信ぜず、信仰者の勧めに耳を貸さず、主に戒められても、なおつぶやく者**である。

それに対し、**約束の地に入れる者とは、救いの源は自分ではなく主とし、信じて前進する者**である。「私達は、ひるんで滅びる者ではなく、信仰によって命を確保する者です。」(ヘブル 10:37-39)

今、皆さんには信じなさい、と勧めます。信仰によって前進し、約束の地に入り、豊かな祝福とのちを楽しむ皆さんでありますように。イエス様の名前によって祝福します！

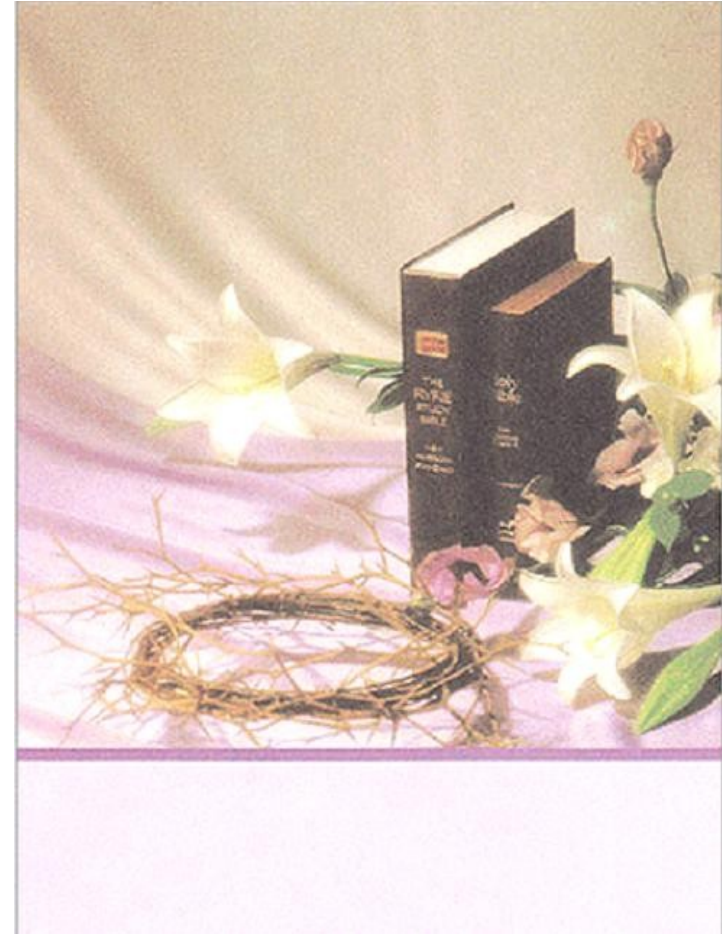
お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第2巻32号

2011年 8月7日

横浜天声キリスト教会

1部礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

1部	10:00
2部(韓国語のみ)	11:00
食事/フェローシップ	12:00～
3部(韓国語 日本語通訳あり)	14:00
聖書勉強会	15:00

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木	夜の祈祷会	21:00～
水曜集会		
1部		13:00～
2部		19:30～
金曜徹夜祈祷会		21:00～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番出口より徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト